

自己評価及び外部評価結果

1. 事業所概要

事業所番号	1491000244	実施年度	令和 6 年	
法人名	株式会社アイシマ			
事業所名	グループホームやまぶき			
所在地	(244-0002) 横浜市戸塚区矢部町 1256			
サービス種別	☒ 認知症対応型共同生活介護 ☐ 介護予防認知症対応型共同生活介護		定員	計 18名
			ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	令和 7 年 1 月 20 日	評 価 結 果 市町村受理日		

2. 運営推進会議開催日時・場所

日 時	令和7年1月29日 10時～11時	場 所	グループホームやまぶき会議室
-----	-------------------	-----	----------------

3. 運営推進会議メンバー

区分	委員分野・主な役職等	人 数
委員	利用者又は利用者の家族	2人
	地域住民の代表者	1人
	当該サービスに知見を有する者	0人
	市の職員又は地域包括支援センターの職員	1人
事務局	管理者	1人
	計画作成担当者	1人
	介護従業者	0人

4. 事業所の特徴

利用者様が自立した生活を送れるように、1日のスケジュールに工夫しています。日常の生活支援としてバランスの良い食事、排泄、入浴、清掃以外には、個別なリハビリの実施、レクリエーションや散策、イベントなど行われています。また、認知症の進行を遅らせるために家事のお手伝いや地域のイベントの参加、多様な人との接点を作るなど楽しく生活することができるようサポートしています。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

1 F わがば

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者第一主義の元、支援に迷いが生じる時に理念を振り返り職員同士で共用し実践している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が地域とのつながりを持ち暮らせるように、事業所自体が日常的に交流を大事にしている。	町内会長、ケアプラザの職員がホームの様子や地域の様子を発信してくれている。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議の報告書を区役所に届ける際に意見を聞き取ることや会議の中で意見を頂きながら支援に活かす努力をしている。	推進会議の際に情報交換やアドバイスを頂いて出来る限り取り入れている。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の事務所での取り組みを伝え、意見を共用している。	事業所活動内容や推進会議の報告書を役所担当者様に提出している。この働きは大事だのご意見を頂いている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法令順守の元、常に勉強会などを開催し習得につとめている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的開催に加え、適宜実施や新人研修を計画、実施、振り返りまでこまめに行えている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会や研修には必ず参加している。また、その内容やテレビなど取り上げられたニュースを職員と話し合いの場を設けている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に研修や勉強会を開催して、虐待防止に努めている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修に参加し後見人さんと密に連絡をとり常に利用者様第一との支援を行っている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族が納得を頂けるまで小さな疑問など関しても話す時間を取っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者とは連絡が取れる体制を心かけている。意見や要望に関しては受け取り後直ぐに職員と共有し運営に反映している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の GH 全体 & 個々の生活状況などを多様なツールを活用し、ご家族へ周知、連携する事ができている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員との話す時間を大切にしている。また提案などは必ず挑戦するようにしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	働きやすい環境整備や条件には柔軟に対応している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	GH 内の行事組立てやカンファレンス開催時にスタッフの向上心を支える声掛けの支援を管理者が細やかな配慮のもと、適宜実施している。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員との会話を大切にし、勉強できる機会を設けている。また職員の提案を受け止めて実践し利用者様への支援に結び付けている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修は多く、内容は充実であり いい取り組みだと思う。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市・区が開催するグループホーム連絡会に参加し、他法人とのネットワークも広がり研修会の参加や意見交換などの機会は増えている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員とは、生活のお手伝いをさせて頂いているということをしっかり伝え理解をしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	知人の訪問がある場合は大いに歓迎し、継続的な交流ができるように働きかけている。	感染防止のため面会時間は15～20分程条件付きではありますが、自由にご面会、ご帰宅出来るようにしている。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の一人ひとりとの会話を大切し、その会話の中からご本人の望む生活を職員間で情報共有し支援に繋げている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族とは直ぐに連絡が取れる体制にしてあり、支援がうまく行かない時などはご家族にアドバイスを貰い支援に繋げていくこともある。	ご家族のご要望に応え、書面だったりメールだったり、動画だったり連絡手段も臨機応変にされているところがいいですね。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別性のあるケアプランに基づき、スタッフ一体となって個別支援に取り組んでいる。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員同士で利用者様の状態の申し送りの時間をしっかりと取っている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の気付き、ヒヤリハット等の原因究明～評価～再発防止やその人らしさの確保の為、都度ミーティングや情報共有が行えている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護や支援に柔軟でなければならぬ事を職員の間に共有している。そして多くの支援方法がある事も職員は理解し取り組んでいる。	直ぐに連絡をしてくれるので、安心します。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で活動内容に大きな制限（自粛）はあったが、可能な範囲での買い物、外食や近所のお店での活動を行っている。	本人の状態をよくみてくれていると思います。その中で外食に連れてくれて本当に嬉しい、有り難いです。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医とは往診の医療連携ノートおよび訪問看護師を経由した連携が十分出来ていて、適切な医療を受けられている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時は医療機関側に詳細に情報を提供し、入院中も主治医または担当看護師との連絡を密にして、医療機関側との関係作りを行っている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ここ最近は、日々の健康管理の効果により、入院に至る事がなく経過している。また、入院案件発生時には、管理者が週一こまめに入院先の相談員と連携し家族へのフィードバックも行っている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明し	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看取りの契約を本人とご家族と取るようにしており、事業所で可能ならば看取りおよび施設葬などの提案を行い、実施している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新人スタッフや経験のないスタッフがこの先看取り対応する場合に備えて勉強会、研修を重ねている。

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる					
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時の対応は事務所の分かりやすい場所に貼ると共に常に体調変化時に備え、職員とは情報共有している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な訓練と地域の避難場所は全体に周知されている。町内会長や地域の方は気にかけて下さる。	町内での協力体制はできております。	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族としては災害時に直ぐに駆け付ける事はできませんが、ホーム近隣との連携と近くの職員は駆けつけてくれることで安心する。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの個性を大切にしている。自尊心を傷つけることないように支援している。		☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人に対する対応はいつも笑顔で優しさを感じている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームのペースではなく、一人ひとりの毎日の状態にあわせた支援を行っている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会話の中で食べたいものを聞き取り食事として提供するように努めている。片付けなどできる時にできる方が行う事として参加して頂いている。		☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に外食等機会を作りながら、食事を楽しんでいただいている。家事の全般の分担はスタッフが側にて見守っている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理栄養士・医療と連携し助言を頂きながら支援に結び付けている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誤嚥性肺炎予防にも繋がり経口摂取の大切さを職員間で共有し、また歯科と連携し助言を頂きながらご本人にあった口腔ケアを行っている。		☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアと毎週の歯科訪問や義歯の調整などの対応に満足しています。ありがたいですとのご意見を頂きました。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄表を共用し、できるだけ長い間、下剤に頼らず自身で自然排泄できるよう支援を行っている。		☒ A 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	尊厳の維持・確立の為「脱オムツ」「自己排便」等を目標に挙げ、日々スタッフが細かに対応している。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☒ A 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	習慣スケジュールはありますが、ご本人の気分や体調に合わせた柔軟に対応している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常に家での生活だったらと考えご本人のペースで生活して頂けるように支援と配慮している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている ☒ B ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬剤師と連携し、薬の把握に努めている。分からない時など助言を頂くように情報は常に共用している。		A. 充分にできている ☒ B ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誤薬があった後迅速な対応、再発予防、情報共有等が行われていた。日課や飲み方から健康状態の改善に繋がるよう、医療職等とも連動し対応している。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ☒ B ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の趣味趣向に合わせた日課を設定し、可能な範囲で無理なく日課を行っていただき、やりがいを得てもらっている。	利用者一人ひとりに合わせた支援は大変だと思いますが、引き続き継続してください。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている ☒ B ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の一人ひとりに合わせた生活リズムを大切にし、散策やドライブ等個別での対応を行っている。	人間らしくとてもいい取り組みだと思います。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている ☒ B ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外食を食べに行ったときにお金を使っている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	☒ A 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が希望された場合は、事務所の電話機を使用していただき、手紙を希望された場合は必要な物を準備する事ができている。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☒ A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様はフロアが一番安心できる場所のようで常に皆様はフロアに集まり過ごされている。職員は自宅の庭から季節の花を摘み、鑑賞時に皆様の笑顔が見られる。		☒ A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様方が作成した季節の展示物で、GH 内に彩りがある。自然の風を取り入れたり個別ニーズに合った環境づくりに取り組んでいる。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	☒ A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が好みの家具・写真などを貼ってホッとする空間を作っている。また希望があれば追加で準備する様にしている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	☒ A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族から聞き取りをしたり生活歴から情報を得て声を掛けたりその方に合った支援を行っている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	☒ A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	安心して過ごして頂けるようにしえんし、体調面で不安になられた場合は直ぐに医療と連携できる関係を築いている。		☒ A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前の生活歴に配慮し、穏やかに過ごせるよう都度スタッフ間共有が行われ変更対応も図れている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている ☒ B ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人のペースや生活習慣を尊重しつつ、ホームのタイムスケジュールや日課に可能な範囲で取り組んでいたいている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 十分にできている ☒ B ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	疲れた際は自身のお部屋で休んで頂くようにしているが、フロアにて過ごしコミュニケーションを取る事が好きようです。		☒ A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	制度上の限度や制約が細細ある中、できる限り本人らしさを GH 内に作れるよう努め、実施している。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができる	A. 十分にできている ☒ B ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出希望を募り、企画して実施しており、極力本人の希望に近い形で外出ができるようにする。	個々の希望を聞き、実践していく事はいいと思います。継続していく事が大事です。		

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	役割など「は決める事がなく、その日の状態に合わせてお願いしている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様は歌が好きな方が多く、毎日歌集を使って歌いたい歌を選曲し歌や会話を楽しみに過ごされている。		☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフの声掛けや介助時のスピード、仕草等からもご本人の理解・了承を求め、合意の上で行っている様子が日々見られる。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の影響にて実施する機会は減少してしまったが、地域交流がなくならないように、挨拶運動などは行っている。	認知症になっても人と挨拶する事は、周りに認知症の方に対する不安が軽減に繋がると思います。続けてください。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるができている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	来客や主治医の方々からやまぶきの皆様は穏やかな表情をされていると。ご家族からも母の顔が優しくなったとのご意見を頂いている。	皆さんの様子はいつも穏やかな表情が見られて、お変わりがなく過ごされていますね。	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域交流(外出やボランティア含め)の機会を作りや日々馴染みのスタッフに支えられ、笑顔の多い生活を送っていることが見てとれる。

2023年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1491000244	事業の開始年月日	平成21年4月1日			
		指定年月日	平成21年4月1日			
法人名	株式会社アイシマ					
事業所名	グループホームやまぶき					
所在地	(244-0002) 横浜市戸塚区矢部町1256					
サービス種別 定員等	☐ 小規模多機能型居宅介護			登録定員	名	
				通い定員	名	
				宿泊定員	名	
		☒ 認知症対応型共同生活介護			定員 計	18
				ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	令和5年12月5日		評価結果 市町村受理日			

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームやまぶきは個別ケアに力を入れています。ご利用者様一人ひとりへの日々の関り・観察・コミュニケーションを通してその人らしい生活・役割やご本人の希望を探しています。
コロナ禍においては出前寿司を取ったり、ホーム内でのイベント・レクリエーションを多数行い、外出制限下でも楽しく過ごしていただいています。
理学療法士の指導を取り入れ、日々の運動に＋α、機能維持訓練も行っています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵠沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日		評価機関 評価決定日	

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<優れている点>
<工夫点>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	9 ～ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	14 ～ 20
V アウトカム項目	56 ～ 68	

自己評価及び外部評価結果

1. 事業所概要

事業所番号	1491000244	実施年度	令和 6 年	
法人名	株式会社アイシマ			
事業所名	グループホームやまぶき			
所在地	(244-0002) 横浜市戸塚区矢部町 1256			
サービス種別	☒ 認知症対応型共同生活介護 ☐ 介護予防認知症対応型共同生活介護		定員	計 18名
			ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	令和 7 年 1 月 20 日	評 価 結 果 市町村受理日		

2. 運営推進会議開催日時・場所

日 時	令和7年1月29日 10時～11時	場 所	グループホームやまぶき会議室
-----	-------------------	-----	----------------

3. 運営推進会議メンバー

区分	委員分野・主な役職等	人 数
委員	利用者又は利用者の家族	2人
	地域住民の代表者	1人
	当該サービスに知見を有する者	0人
	市の職員又は地域包括支援センターの職員	1人
事務局	管理者	1人
	計画作成担当者	1人
	介護従業者	0人

4. 事業所の特徴

利用者様が自立した生活を送れるように、1日のスケジュールに工夫しています。日常の生活支援としてバランスの良い食事、排泄、入浴、清掃以外には、個別なリハビリの実施、レクリエーションや散策、イベントなど行われています。また、認知症の進行を遅らせるために家事のお手伝いや地域のイベントの参加、多様な人との接点を作るなど楽しく生活することができるようサポートしています。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

2F いぶき

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	☒ A 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者第一主義の元、支援に迷いが生じる時に理念を振り返り職員同士で共用し実践している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	☒ A 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が地域とのつながりを持ち暮らせるように、事業所自体が日常的に交流を大事にしている。	町内会長、ケアプラザーの職員がホームの様子や地域の様子を発信してくれている。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	☒ A 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議の報告書を区役所に届ける際に意見を聞き取ることや会議の中で意見を頂きながら支援に活かす努力をしている。	推進会議の際に情報交換やアドバイスを頂いて出来る限り取り入れている。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の事務所での取り組みを伝え、意見を共用している。	事業所活動内容や推進会議の報告書を役所担当者様に提出している。この働きは大事だのご意見を頂いている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	☒ A 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法令順守の元、常に勉強会などを開催し習得につとめている。		☒ A 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的開催に加え、適宜実施や新人研修を計画、実施、振り返りまでこまめに行えている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	☒ A 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会や研修には必ず参加している。また、その内容やテレビなど取り上げられたニュースを職員と話し合いの場を設けている。		☒ A 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に研修や勉強会を開催して、虐待防止に努めている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	☒ A 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修に参加し後見人さんと密に連絡をとり常に利用者様第一との支援を行っている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族が納得を頂けるまで小さな疑問など関しても話す時間を取っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者とは連絡が取れる体制を心かけている。意見や要望に関しては受け取り後直ぐに職員と共有し運営に反映している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の GH 全体 & 個々の生活状況などを多様なツールを活用し、ご家族へ周知、連携する事ができている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員との話す時間を大切にしている。また提案などは必ず挑戦するようにしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	働きやすい環境整備や条件には柔軟に対応している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	GH 内の行事組立てやカンファレンス開催時にスタッフの向上心を支える声掛けの支援を管理者が細やかな配慮のもと、適宜実施している。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員との会話を大切にし、勉強できる機会を設けている。また職員の提案を受け止めて実践し利用者様への支援に結び付けている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修は多く、内容は充実であり いい取り組みだと思う。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市・区が開催するグループホーム連絡会に参加し、他法人とのネットワークも広がり研修会の参加や意見交換などの機会は増えている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員とは、生活のお手伝いをさせて頂いているということをしっかり伝え理解をしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	知人の訪問がある場合は大いに歓迎し、継続的な交流ができるように働きかけている。	感染防止のため面会時間は15～20分程条件付きではありますが、自由にご面会、ご帰宅出来るようにしている。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の一人ひとりとの会話を大切し、その会話の中からご本人の望む生活を職員間で情報共有し支援に繋げている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族とは直ぐに連絡が取れる体制にしてあり、支援がうまく行かない時などはご家族にアドバイスを貰い支援に繋げていくこともある。	ご家族のご要望に応え、書面だったりメールだったり、動画だったりと連絡手段も臨機応変にされているところがいいですね。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別性のあるケアプランに基づき、スタッフ一体となって個別支援に取り組んでいる。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員同士で利用者様の状態の申し送りの時間をしっかりと取っている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の気付き、ヒヤリハット等の原因究明～評価～再発防止やその人らしさの確保の為、都度ミーティングや情報共有が行えている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護や支援に柔軟でなければならぬ事を職員の間に共有している。そして多くの支援方法がある事も職員は理解し取り組んでいる。	直ぐに連絡をしてくれるので、安心します。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で活動内容に大きな制限（自粛）はあったが、可能な範囲での買い物、外食や近所のお店での活動を行っている。	本人の状態をよくみてくれていると思います。その中で外食に連れて来てくれて本当に嬉しい、有り難いです。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医とは往診の医療連携ノートおよび訪問看護師を経由した連携が十分出来ていて、適切な医療を受けられている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時は医療機関側に詳細に情報を提供し、入院中も主治医または担当看護師との連絡を密にして、医療機関側との関係作りを行っている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ここ最近は、日々の健康管理の効果により、入院に至る事がなく経過している。また、入院案件発生時には、管理者が週一こまめに入院先の相談員と連携し家族へのフィードバックも行っている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明し	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看取りの契約を本人とご家族と取るようにしており、事業所で可能ならば看取りおよび施設葬などの提案を行い、実施している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新人スタッフや経験のないスタッフがこの先看取り対応する場合に備えて勉強会、研修を重ねている。

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる					
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時の対応は事務所の分かりやすい場所に貼ると共に常に体調変化時に備え、職員とは情報共有している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な訓練と地域の避難場所は全体に周知されている。町内会長や地域の方は気にかけて下さる。	町内での協力体制はできております。	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族としては災害時に直ぐに駆け付ける事はできませんが、ホーム近隣との連携と近くの職員は駆けつけてくれることで安心する。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの個性を大切にしている。自尊心を傷つけることないように支援している。		☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人に対する対応はいつも笑顔で優しさを感じている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームのペースではなく、一人ひとりの毎日の状態にあわせた支援を行っている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会話の中で食べたいものを聞き取り食事として提供するように努めている。片付けなどできる時にできる方が行う事として参加して頂いている。		☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に外食等機会を作りながら、食事を楽しんでいただいている。家事の全般の分担はスタッフが側にて見守っている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理栄養士・医療と連携し助言を頂きながら支援に結び付けている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誤嚥性肺炎予防にも繋がり経口摂取の大切さを職員間で共有し、また歯科と連携し助言を頂きながらご本人にあった口腔ケアを行っている。		☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアと毎週の歯科訪問や義歯の調整などの対応に満足しています。ありがたいですとのご意見を頂きました。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄表を共用し、できるだけ長い間、下剤に頼らず自身で自然排泄できるよう支援を行っている。		☒ A 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	尊厳の維持・確立の為「脱オムツ」「自己排便」等を目指し、日々スタッフが細かに対応している。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☒ A 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	習慣スケジュールはありますが、ご本人の気分や体調に合わせた柔軟に対応している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常に家での生活だったと考えご本人のペースで生活して頂けるように支援と配慮している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている ☒ B ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬剤師と連携し、薬の把握に努めている。分からない時など助言を頂くように情報は常に共用している。		A. 充分にできている ☒ B ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誤薬があった後迅速な対応、再発予防、情報共有等が行われていた。日課や飲み方から健康状態の改善に繋がるよう、医療職等とも連動し対応している。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ☒ B ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の趣味趣向に合わせた日課を設定し、可能な範囲で無理なく日課を行っていただき、やりがいを得てもらっている。	利用者一人ひとりに合わせた支援は大変だと思いますが、引き続き継続してください。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている ☒ B ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の一人ひとりに合わせた生活リズムを大切にし、散策やドライブ等個別での対応を行っている。	人間らしくとてもいい取り組みだと思います。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている ☒ B ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外食や買い物に行ったときにお金を使っている。ほとんどの利用者はご家族に金銭管理を行っている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	☒ A 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が希望された場合は、事務所の電話機を使用していただき、手紙を希望された場合は必要な物を準備する事ができている。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☒ A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様はフロアが一番安心できる場所のようで常に皆様はフロアに集まり過ごされている。職員は自宅の庭から季節の花を摘み、鑑賞時に皆様の笑顔が見られる。		☒ A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様方が作成した季節の展示物で、GH 内に彩りがある。自然の風を取り入れたり個別ニーズに合った環境づくりに取り組んでいる。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	☒ A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が好みの家具・写真などを貼ってホッとする空間を作っている。また希望があれば追加で準備する様にしている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	☒ A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族から聞き取りをしたり生活歴から情報を得て声を掛けたりその方に合った支援を行っている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	☒ A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	安心して過ごして頂けるようにしえんし、体調面で不安になられた場合は直ぐに医療と連携できる関係を築いている。		☒ A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前の生活歴に配慮し、穏やかに過ごせるよう都度スタッフ間共有が行われ変更対応も図れている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている ☒ B ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人のペースや生活習慣を尊重しつつ、ホームのタイムスケジュールや日課に可能な範囲で取り組んでいたいている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 十分にできている ☒ B ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	疲れた際は自身のお部屋で休んで頂くようにしているが、フロアにて過ごしコミュニケーションを取る事が好きようです。		☒ A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	制度上の限度や制約が細細ある中、できる限り本人らしさを GH 内に作れるよう努め、実施している。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができる	A. 十分にできている ☒ B ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出希望を募り、企画して実施しており、極力本人の希望に近い形で外出ができるようにする。	個々の希望を聞き、実践していく事はいいと思います。継続していく事が大事です。		

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	役割など「は決める事がなく、その日の状態に合わせてお願いしている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様は歌が好きな方が多く、毎日歌集を使って歌いたい歌を選曲し歌や会話を楽しみに過ごされている。		☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフの声掛けや介助時のスピード、仕草等からもご本人の理解・了承を求め、合意の上で行っている様子が日々見られる。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の影響にて実施する機会は減少してしまったが、地域交流がなくならないように、挨拶運動などは行っている。	認知症になっても人と挨拶する事は、周りに認知症の方に対する不安が軽減に繋がると思います。続けてください。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるができている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	来客や主治医の方々からやまぶきの皆様は穏やかな表情をされていると。ご家族からも母の顔が優しくなったとのご意見を頂いている。	皆さんの様子はいつも穏やかな表情が見られて、お変わりがなく過ごされていますね。	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域交流(外出やボランティア含め)の機会を作りや日々馴染みのスタッフに支えられ、笑顔の多い生活を送っていることが見てとれる。

2023年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1491000244	事業の開始年月日	平成21年4月1日			
		指定年月日	平成21年4月1日			
法人名	株式会社アイシマ					
事業所名	グループホームやまぶき					
所在地	(244-0002) 横浜市戸塚区矢部町1256					
サービス種別 定員等	☐ 小規模多機能型居宅介護			登録定員	名	
				通い定員	名	
				宿泊定員	名	
		☒ 認知症対応型共同生活介護			定員 計	18
				ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	令和5年12月5日		評価結果 市町村受理日			

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームやまぶきは個別ケアに力を入れています。ご利用者様一人ひとりへの日々の関り・観察・コミュニケーションを通してその人らしい生活・役割やご本人の希望を探しています。
コロナ禍においては出前寿司を取ったり、ホーム内でのイベント・レクリエーションを多数行い、外出制限下でも楽しく過ごしていただいています。
理学療法士の指導を取り入れ、日々の運動に＋α、機能維持訓練も行っています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵠沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日		評価機関 評価決定日	

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<優れている点>
<工夫点>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	9 ～ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	14 ～ 20
V アウトカム項目	56 ～ 68	

令和6年度

グループホーム やまぶき

作成日： R7 年 1月 20日

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた 具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	3 9	運営推進会議にご家族と地域の方の参加が少ない為、報告だけになる事が多い。	参加型の運営推進会議にしていきたい。	ご家族に参加し易い曜日や時間の設定し、無理のないように企画を立てる。ご家族の疑問や困った出来事、知りたい事など面会時にお聞きし、推進会議内で共用、出した意見を伝えていく	12ヶ月
2	14 28	利用者様一人ひとり「出来る事」の見極めが足りない。	利用者様の調理等の更なる参加をして頂けるように支援する。	野菜の皮むき、味見をして頂く。イベントとして月に一度その人の好みを聞き、食事を提供する。	12ヶ月
3	17	介護計画にご家族の意向が反映できない「お任せします」が多い。	介護計画書作成時、ご家族のご意向を反映したケアプランを作成する。	ケアプラン会議にご家族にも参加して頂く。面会時、ご家族の思いや意向を伺い介護経過記録に記入する。面会に来られないご家族に手紙を出してご意向を確認する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月